



令和6年度 学芸の森保育園 とうきょうすくわく
プロジェクト

水を感じる

<ねらい>

- ・生活の中の色々な場面で水と関わっていることを知る。
- ・普段のお散歩先や園内にも水があることを知る。



◆ 令和6年度 ことり組（1歳児クラス）では、生活の中の様々な場面で、
「水」を感じることができるように、1年間を通じて活動を展開しました。
季節によって姿を変える「水」との子どもたちとの出会いの様子や、多様な遊びの中で水を楽しむ姿などを観察し、記録することで、1歳児ならではの気付きや発見がありました。

こどり組の「水を感じる」年間計画

5、6月...普段の遊びの中で水を感じる
(戸外遊び・シャボン玉・田植え・小麦粉粘土あそび・スタンプ遊び)

7、8月...水遊び・プール遊び

9月...色水遊び(食紅)・水、氷あそび

10月...散策活動・寒天あそび

11月...普段の遊びの中での水との関わり(散策の中の水)

12月...かぶの収穫



1~3月...普段の遊びの中での水との関わり(霜柱・氷・雪あそび)



普段の子どもたちの遊びの中で
様々な水との出会いがありました♪
毎週配信されるドキュメンテーション
にて、保護者の方々にも共有しました。



振り返り

生活の中の身近な水との出会い



日々の生活の中に「水」との出会いがあり、それが遊びに発展！



新たな言葉の発見



「だし汁」という言葉を知らない子どもたちは「くさい水」と表現したり、氷のことを「キラキラ」と表現したり…。水を感じる活動で新たな言葉を発見！

何度も繰り返すことで、水の仕組みや面白さが分かり、遊びが広がる！

繰り返しの楽しみ



1歳児だからこそ初めての水との出会いが日常の中にたくさんあり、そこから水の仕組みを知ったり、新しい言葉を知ったりする姿があることが分かった。そして、生活に身近にある「水」というテーマである故に、生活の中で遊びが生まれるきっかけがたくさんあることにも改めて気付いた。そのため、日常の中での子どもたちの発見や発言を逃さずに受け取り、考えることが重要であると感じた。